防ダニ・アレルギー対策寝具使用感比較アンケート
対象者抽出のための電話スクリーニングプロセス

①テストスクリーニング

30 代	10 人	▶	6 人
40 代	10 人	▶	5 人
50 代	10 人	▶	4 人
60 代以上	10 人	▶	3 人
	40 人		18 人

◆アトピー・アレルギー申告者の傾向
30 代は申告率は多いが、深刻度（改善・対処をしていない）が弱い。（未婚率・有職率が高く在宅率が低い）
40 代・50 代は 30 代より深刻者の出現率が多い傾向が明らか
40 代は幼児～社会人まで子供の属性にばらつきがある
60 代の申告率はトーンダウンする

40～50 代を中心にアトピー・アレルギー接点者の比率と衛生寝具の認知を確認

②コンタクト総数　アトピー・アレルギー申告者

		アトピー・アレルギー申告者	
30 代	21 人	11 人	(52.3%)
40 代	78 人	29 人	(37.2%)
50 代	56 人	21 人	(37.5%)
60 代以上	42 人	13 人	(30.9%)
	197 人	74 人	(37.5%)
	医師診断あり	12 人	(16.2%)
	候補者（ヒアリング対象者）	12 人	

衛生寝具認知者
衛生寝具接点見込者

③「衛生寝具」について

・「衛生寝具」という概念が消費者にはない。アトピー・アレルギーの人用の寝具⇒認知者はすべてヒアリング、データ化を行った

・ダニ・アレルギー対策寝具⇒衛生寝具の商品カテゴリーの理解にばらつきがあり（防ダニ加工は意識があるが具体的に何かはわからない）、ヒアリング内容から、一定の接点がありそうな該当者をピックアップした

「衛生寝具」に対する理解の実態が捉えにくいことから、自身の寝具に対する意識について語れるアレルギー申告者を候補者としてデプスインタビューを行った。

④当社、アトピー・アレルギー（主に医師診断者）申告者リストに基づくヒアリング

アトピー・アレルギー申告者	46 人
医師診断あり	43 人
候補者（ヒアリング対象者）	19 人

衛生寝具認知者
衛生寝具接点見込者

2015.8
株式会社ウィズプランニング

対象者抽出のための電話スクリーニングプロセス

⑤アトピー・アレルギー申告者(N=120)について

■衛生寝具との接点

*ダニ・アレルギー対策機能のある寝具類、アレルバスター、ミクロガード等名称を提示して確認

		母数	認知者	購入経験者	現使用者	布団現使用
	アトピー・アレルギー申告者全体	120 人	23 人(19.1%)	18 人(15.0%)	14 人(11.7%)	7 人(5.8%)
内訳	医師診断中心者	46 人	14 人(30.4%)	10 人(21.7%)	8 人(17.4%)	4 人(8.7%)
	一般(医師診断一部)	74 人	9 人(12.2%)	8 人(10.8%)	6 人(8.1%)	3 人(4.1%)

シーツ・カバー含む　　布団限定